

委員会だより

< 5月5日(日) 8名出席 >

- 4月度財務報告
 - 一般会計よりパソコン、プリンタを購入。(134,568円)
 - 大津教会 50周年記念祝い金として 30,000 を支出。(5月12日)
 - 月定献金はほぼ予算のレベルで推移している。
 - 「カトリック教会のカテキズム」頒布に関する冊数問い合わせが司教館よりあり、神父様の分を含めて、取り敢えず5部を申し込む。
- 「司祭のマリア運動」の集い(毎月第1土曜日、1時～4時)に会場を提供する件を了承。
- 大津教会 50周年記念祝賀会に阿部(映)副委員長が出席
- 山崎神父様NRC大会出張(5月24日～28日)の件
 - 例年通り留守番の当番表を記入していただく。
 - 26日(日)のミサは、上杉神父様。
- 湘南短期キリスト教セミナー関連事項
 - 第1回責任者会議が4月14日片瀬教会にて開催され、小野寺委員出席。
 - 講師決定・・・新谷のり子、井上洋治神父、Sr.亀崎善江の三氏。
- 森脇さんの理科教室
 - 中田コミュニティハウスで実施。教会の掲示板にも案内を貼ります。
- 第5地区福音宣教委員会より
 - 今年度平和旬間のテーマは「赦しと正義と平和」となる予定。(詳細未定)
- 渡り廊下のテントの張り替え補修
 - 見積もり結果は、93,450円。
- ペシャワール会(アフガニスタン支援)への寄付の依頼があり、3万円くらいを考える。
- 将来の予算運用を検討
 - 2002年度予算をもとに、将来の予算運用について収支がマイナスになることも懸念される等話し合われた。
- 要理学校についての話し合い

最近の世代は、親が興味をもったものについては関心を持つが、興味を持たないものについては関心が薄い、といった二極分化の現象がみられる。お母さんどうしの話し合いが必要ではないか。

壮年会だより

< 5月19日(日) 8名出席 >

- 委員会報告 (4月度)
 - 主たる議題 (内容は教会報を参照)
 - 4月度財務報告
 - 典礼委員について
 - 「司祭のマリア運動」の集いについて
 - 大津教会 50周年記念祝賀会の件
 - 山崎神父様NRCの集い出張のため、留守番の件
 - 梅村司教様からの問い掛け関連資料
 - 湘南短期キリスト教セミナー
 - 森脇さんの理科教室
 - 第五地区福音宣教委員会開催
 - 渡り廊下のテント張り替え
 - ペシャワール会への献金
 - 将来の予算運用検討
 - 要理学校に関する話し合い

- 委員会議事録のあり方と中和田会報への掲載について
- 議案
 - 6月の聖書朗読: 6/2: 竹内さん 6/23: 七浦さん
 - 春の庭掃除について 5/18(土)は雨天のため中止・・・梅雨明け後に実施する。
 - バザー委員選出 (2名) 竹内さんと、若者に依頼
- その他
 - 連絡網・・・電話番号ミス訂正版を配布します。岩永さん 正 811-8288 (誤 805-4030)
 - 一粒会報告
 - 東京カトリック神学院今年度の状況 司祭叙階4名、助祭4名、入学者9名・・・徐々に増加している。
 - 横浜教区大会は9月23日カリタス短大(川崎)で実施
 - メインテーマ「沖に出て、網をおろし 漁をなさい」
 - 第5地区祈りのリレーを今年も実施する
 - 5月藤沢→6月大船→7月鍛冶ヶ谷→8月原宿→9月戸塚→10月中和田→11月片瀬
 - 藤沢教会スポーツ大会 (4/28) 300名位が参加、若者が企画し、大変楽しい1日でした。小さい頃から活動に参加することで将来の司祭、修道者が増加すれば大変良い。参加者のアンケートを取り、今後の参考にする。
 - 春のハイキング・総勢10名(婦人会5名、壮年会2名、子供3名) 箱根の湯坂道・・・良い天気、爽やかな新緑の中大変楽しいハイキングでした。
 - 次回集会 6月16日

婦人会だより

< 5月19日(日) 24名出席 >

- 委員会報告 (委員会だより参照)
- 婦人会関連事項
 - バザー委員会委員選出 例年どおり会長、副会長に出ていただくことになりました。
 - 不用衣料品交換会へのご協力ありがとうございました。引続き不用品(新品、中古品を問わず)をお出しくください。
 - 神父様のご霊名の祝日(6月29日)のお祝いは、例年どおり図書券をさしあげます。
 - 下記取り寄せ品の注文を受けつけます。
 - 「かつおの佃煮」、「プロポリス」、「ドロさまそうめん」、「ドロさまパスタ」 申し込み用紙を貼り出しますので、お書き込みください。
 - ご自宅で療養中でいらした下山千代様に、過日皆様からの霊的花束をお届け致しましたが、たいへん残念なことに、その後の5月22日夜ご帰天になられました。
 - また、ご入院中だった位田裕子様は5月13日に退院されました。しかし、いましばらく静かに見守りください。
 - マリア像の前庭の花の植え替えが済み、サルビアなどが夏の到来を待っています。
 - 費用は「野菜の販売などみなさまのご協力によるものです」と松下さんから報告とお礼がありました。
 - 婦人会役員選出方法などについての話し合いが、先月に引続き行なわれました。話し合いを重ねながら、よい方向を見つけていきましょう。

次回例会は、6月16日(日) 当番はB地区です。

広報 なかわだ 第281号

6月の予定

委員会	6月 2日
壮年会、婦人会	6月16日
神父様霊名祝日	6月29日
サロン	6月 9,23日
レジオ	6月14,21,28日



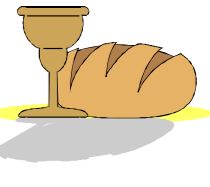
2002年 6月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北 1丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141
平成14年 6月 2日



閑暇にまかせて

山崎 正俊



戦時中に、ポナペ島にいた人が、その思い出を記しておられた。それは、多くが私の知らないことであり、そこにいた頃の私にはまったく違った世界のことだった。同じ島に同じ時に住んでいたはずなのに、全く別の場所にいる者のような生活をしていたらしい。軍隊にいたわけだが、その地位がかけはなれており、その考えさえ同じではなく、祖国が負けたのを聞いた日さえ異なった。私はやっと上等兵にお情けでされたような具合で、風土病を次々と経験して、兵隊としてもあまり役に立ったことはなかったようだった。戦後の経験でも、共通点さえなく、奇妙なことだった。

戦争のために来ていたはずなのに、そのような意識も覚悟も、それほど強くはなかったようだった。戦後は、小銃と弾薬を少し持たされ、武器が集積されていた建物の警備に時々一日交替で立つほかは、爆弾の穴を埋めたり、米軍の宿舎を建てる場所で、時間つぶしのような仕事をする他は、食糧増産といっても、イモや野菜作りを手伝ったりということのほかには、そのまま、帰国の日を待つというような毎日であった。

そのようなわけか、中隊では、回覧雑誌に投稿役を引き受けるだけで、同じ分隊の戦友達数人分を代作することぐらいが、頼りにされた仕事であった。たいていは、川柳のようなものだったが、思い出すままに、その幾つかを、次に残してみよう。

故郷の花の便りを敵に聞き
雑炊が体にあうかとと取り
漁労班とれぬ間はジャマにされ
だらずには夢マボロシの浮き世哉

守備隊は汗を流してイモ作り
東京も爆撃を受けるよとイモを食
衛兵につけば漁労班はフカを捕り
たくましく生きる力はジャングルも
よき住まい地と打ち開きゆく

(山崎神父様ご旅行でお疲れのため、今月は、『なかわだ抄 四十年記』より、これまで広報に掲載されなかったものを転載させて頂きました。)

ミサ 当番表 (2002年 6、7月)

月/日	主 日	朗 読、奉 納	オルガン	月/日	主 日	朗 読、奉 納	オルガン
6/2	キリストの聖体	壮年会	美 底	7/7	年間第14主日	壮年会	森 田
6/9	年間第10主日	青年会	岩 渕	7/14	年間第15主日	青年会	美 底
6/16	年間第11主日	婦人会B地区	森 田	7/21	年間第16主日	婦人会C地区	岩 渕
6/23	年間第12主日	壮年会	美 底	7/28	年間第17主日	壮年会	森 田
6/30	年間第13主日	婦人会B地区	岩 渕				

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: Tel. 802-6258)迄お申し出下さい。

皿 洗 い

石 井 三 雄

電話番号「0466・・・・」を入力して、スタートボタンを押す。ナビゲーターの画面は即座にマリア山修道院の場所を表示した。これを中継地として記録する。準備は整った。

私どもはこの2月で結婚35周年を迎える。これを記念して（分相応の）一泊旅行を計画した。行き先は伊豆高原である。そこには今まで勤務していた会社の保養所がある。

実はこの保養所、およそ20年前に設計から竣工まで一貫して関わった経緯がある。当時は会社の景気もよく「本格的な保養施設を作れ」との社長の一声でスタートした。当時としても内外装をはじめとして設備、什器備品を含め大層立派な施設だった。

それが今年の5月に閉鎖することが決まった。これも時の流れ、バブル後遺症の影響であろうか、しかし一抹の寂しさはかくせない。

今日が暦の上での立春とはいえ箱根ターンパイクの道路の両側にはまだまだ雪が残っていた。私共は、車での移動に限らず旅行中に何かしら意見の相違が露呈する。最もこれは日常の生活に於いても然り、であるが。旅行中は特に頻繁になるようだ。目的地までの道順であったり、見学先の施設が対象だったりする。しかし今回は珍しくも(?)修道院近くで安心して通行できる2車線道路に変更した以外はト

ラブルもなく若干の遅れで到着することができたが、何か物足りない気がしないでもない。思い返してみると近頃のいさかいはどうでも良い様に思われ、反撃する気力がどうも鈍くなっているようだ。これも経年のなせる業なのか。



修院長の出迎えを戴いたが、別棟の聖堂には予めストーブの温もりがありその心使いに恐縮したが、内心嬉しくもあった。私共はその聖堂での感謝の祈りをたおやかな時の流れと共に過ごすことができた。

「昼食前の祈り」までにはまだ時間があるので近くを散策した。マリア山は四季を通して「思考するには最適な環境」にあると思う。この日は雪こそ降らないが時折降る小雨と北風が吐く息を白くさせている。それでも芽吹き始めた草木が目にとまる。じきに早春の営みが山全体で始まるだろう。そしてここには固有

の時が流れているさまを肌で感じた。

修院に戻って祈りのあと、フルコースの昼食が用意されていた。ワインを飲みながらの食事は会話が弾む、なかでもコック長T村さんの話が雰囲気盛り上げた。私共もそれに加わり2時間が瞬く間にすぎた。

食事が終わり、皆で後片付けを始めたが、既に修院長が流しの前で食器を洗っていた。ブラザーがそ

の食器を拭き、それを食器棚に収納していく。夫々の作業分担を手馴れた様子で進めている。私共も何の違和感もなくその流れに加わっていた。

このとき以前管区長に原稿か何かの依頼をお願いしたことがあった。そのとき「今日は炊事当番でこれからカレーを作らなければならないので明日でもいいですか」といわれたことを思い出した。

およそ200年前マリア会の創立者シャミナード師は最初に信徒の共同体を作り、使命達成のための一歩とする。そして実にその15年後、女子の汚れなきマリア修道会を、翌年にマリア会を創立した経緯がある。また聖職者と信徒を上下関係で捉えず同等の共同体とし、それぞれが信仰の生活と奉仕活動を実践するように組織された。マリア会はこれが大きな特徴だと思う。その精神がなんの銜(てら)いもなくこのような場でも実践され、継承されている。

人は生活を通して信頼関係を重要なものとして構築しているのではないだろうか。これが希薄になると規律とか命令でその関係を維持しようとするようになる。これは私たちの身近にも起きていないだ

ろうか。

信徒としての私たちは、霊的な兄弟姉妹の関係にあるのだから、もう少し「信頼」の中で生活できないものだろうか。威張らず、肩書きにこだわらず、自らが進んで料理や皿洗いをを行うことの何たるかを・・・

マリア会と私共家族との出会いは14年前に遡るが、その時からこの会の思想は自分の信仰信条の目標となっている。

思いをめぐらしながら食器を拭いていると何故か胸が熱くなるのを感じた。

一信徒である私共のために修道院総出の見送りを受け恐縮と感謝のうちに修院をあとにした。返礼のために開けた窓を閉めながら、ふとそれを途中で止めた。高揚した頬にあたる風がとても心地よい。

(少ない)後ろ髪を引かれる思いの中でつぶやいた。「次はここを目的地にしよう。」

窓を閉め、そして助手席に身を沈めながらいつしか心地よいまどろみに入っていった。

お知らせ

帰天 下山 千代 様 5月22日

通夜: 5月25日(土) 告別式: 5月26日(日) 於 エヴァホール戸塚

各種行事のご案内

1. 横浜教区カトリック婦人同志会・バス遠足

日時: 6月27日(木)

行き先: 清里-アンデレ教会(細井神父様司式にてミサ)、小淵沢-織物博物館、フィリア美術館

集合場所: 横浜西口天理ビル前(バス2台)、または茅ヶ崎駅前(バス1台)

集合時間: 横浜は午前7時50分(8時出発) 茅ヶ崎は午前7時20分(7時30分出発)

参加費: 6500円(昼食費を含むが、入場料は含まない)

申し込み: 阿部(映)さん迄。満席になり次第しめきります。

2. 若い人々の黙想会(マリア会)

テーマ: あなたは孤独ですか? ~ 自分の居場所を探して・・・

日時: 6月23日(日)

会場: 汚れなきマリア修道会・町田祈りの家 (町田市本町田3050-1、TEL042-722-6301)

対象: 40歳くらい迄の男女

指導: マリア会・清水一男神父

参加費: 1300円

申込み、問い合わせ: シスター小林 (TEL042-391-4952 FAX 042-395-2092)